



# やすひさの瓦版 (第91号)

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail [shiozaki@y-shiozaki.or.jp](mailto:shiozaki@y-shiozaki.or.jp)

2012年3月31日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長  
衆議院議員 塩崎 恭久  
〒790-0003 松山市三番町4-7-19  
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

## 今こそ抜本改革への覚悟と決意を

3月11日に起こった東日本大震災から一年余が過ぎました。福島県原発事故の被災者16万人の方々が、未だ自宅・故郷に戻れない、辛い日々を送ってられます。事故の徹底的な原因究明を行い、二度と同じ事故を起こさない原子力規制の枠組みを作ることこそ、被災者の方々のご苦難に報いる唯一無二の手段だと思います。

民間の原発事故独立検証委員会の報告書は、「安全対策が不十分であることの問題意識は関係者が皆共有していたが、組織が困るかもしれないことは発言すべきでないという『空気』が原子力関係者の中に蔓延し、不完全な安全規制につながった」と指摘しています。この「空気」の中にエネルギー庁と保安院という「官」が加わり、更に問題を深刻化させました。

エルピーダの破産にも同じことが言えます。既に廉売競争が熾烈になっていました。

DRAM市場で苦戦していた同社に経産省が出資し、護送船団方式で無理矢理延命をさせましたが、「官」に対する甘え意識も芽生え、

結局韓国サムソン社らに無残に敗北することになってしまいました。「産業のコメ」とまで言われた半導体事業の、官を挙げての救済に、撤退も含めた戦略転換を提案し、異議を唱えるのは、日本国内の「空気」が許さなかったのでしょうか。

しかし「日本の没落」まで、「空気」で片づけてしまってはいけません。今こそ必要なのは、そうした今まで当然とされていた「空気」を打破し、新しい手法、新しい価値観を日本に取り入れる覚悟と勇気です。独立した原子力規制組織の創設と、新規産業を創出する成長戦略など、私も党内で引き続き「空気」を読まない議員として、必死に頑張っ参ります。



神道政治連盟国会議員懇談会主催の「東日本大震災物故者慰霊祭」に参列。御霊の安寧を祈り、復興への全力投球を誓う。(3/10、福島県相馬市)



政府の「原子力規制庁」案が、IAEA安全基準を全く充たしていないことを厳しく追及。(3/6、衆・予算委TV入り集中審議)



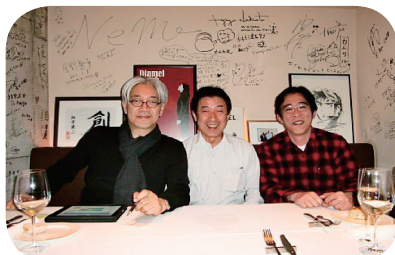
父塩崎潤が予算獲得に奔走した国道33号線三坂道路が遂に全線開通。雪や霧による難所が解消、久万高原町やこの地域の発展の可能性が飛躍的に高まる。父の遺影とともに参列。(3/17、砥部町)



## 「やすひさ」が行く、見る、聞く!



第2回「日本を根っこから変える保守の会」を開催。脱藩財務官僚の高橋洋一氏を招き、消費増税について議論。(1/30、衆・第一議員会館)



高校時代からの親友である、ミュージシャンの坂本龍一君、かつてカメラマン、レポーターとして活躍した馬場憲治君と、久し振りに旧交を温める。(3/9、東京)



恒例「まつやま農林水産まつり」にて。愛媛の食材を求める大勢の来場者で今年も大賑わい。(2/19、松山)



松山市郊外にてミニ集会。日々皆さんが感じる様々な不安や、将来の可能性について意見を交わす。(2/5、松山市浄瑠璃地区)

## 「塩崎やすひさと明日を語る」

松山・東京



松山にて「塩崎やすひさと明日を語る集い」(2/12)、東京にて「塩崎やすひさと明日を語る会」(3/13)を開催。多くの方々のご来場、ありがとうございました。

## 愛媛県農協青壮年連盟との意見交換会



愛媛県農協青壮年連盟の皆さんとの意見交換会(2/15、衆・第一議員会館)



「アジアの子ども達に学校を作る議員の会」(会長：安倍元総理)の一員としてミャンマーを訪問。上下両院にて急速に進む民主化、日・ミャンマー関係など意見交換。(1/15-16、首都ネピドー市内の国会議事堂内)

首相就任後初来日のタイ王国のインラック首相との朝食会に招かれる。自民党の日本・タイ友好議員連盟の会長として、日本側を代表して挨拶。  
(3/8、東京・迎賓館赤坂離宮)



## ●新ポスター掲示のお願い●

新しいポスターが完成致しました。ポスターが貼れる広報板を新たに設置させていただける方、よろしくお願いします。会社、ご自宅などの壁や塀などに貼って頂ける方がおられましたら、是非ご一報下さい。スタッフが参ります。

お問い合わせ先：089-941-4843

担当：櫻井・岡



## 「IAEA安全基準」って、な～に？

IAEAの日本語名は「国際原子力機関」。  
1957年に「平和のための原子力」を理念として発足し、本部はオーストリアのウィーンにあります。各国の原発等の安全のため、原子力、放射性物質、核廃棄物等各分野の安全に関する基準・指針を定めています。

## ～あなたの声を政策に～ 参加者大募集!

ご近所やサークル、職場、ご友人など、お仲間の輪の中に塩崎やすひさが参ります。ぜひ皆さんの暮らしの「生の声」をお聞かせ下さい。

連絡先：塩崎恭久事務所  
089-941-4843 (望月・岡)

